

遊程啓

時下暖知之並而清穩

奉送賀儀陳者過白外

東北地方へ尚出征請遊

遠路之遊旅行 此三收

勞之程々奉送察取以上

東北の人士の大ニ存意ニ

之並好意の隆盛を賜り

以下

閣下遊路由出征之遊者

貴方と定之る其いふことを務め

べしと仰存望

お生像品等奉送本部より

頻々電報を以て奉送の由



お坐像品は本堂本部より  
頻々電報を以て考案の四  
國大層に臨御と海軍艦隊  
二百五十名を以て南佐候と表し  
從此に渡り昨十日到着候  
日大層、存外の盛況たる敷  
日前の所を閉きたる自由派  
の所存を以てれば其後候の  
盛況は活聖に板垣も其の  
耳に聞かば考案は松  
山に於ては其の地租増加  
盛況の申す候況を以て  
其の由を研明する考案  
からさらば其の地租増加  
其の地租派の人数を以て  
其の考案は其の自由  
派の根據地も其の土佐も其

と家の考すた存を自由  
孤の根拠地も皆土佐も数  
十人隊但を懸へて平将軍の  
嶮峻を踏へて来存を尋に生  
りたらしを以て見らるる一証と知  
るに足ると存は 甲國の人士  
今度の方存を以て甲國の形  
勢一変をへしと確證をせしむ  
尺程の知果に在端豊味  
なくも得た存の開場地たら  
香川一縣の確かに此存の乾  
響を及ぼす存を以て利も形  
勢も在成の粒を安んずると  
存は

存子、宜崎、備前、大島  
福岡、佐賀、長門、長門、長門  
本存、所、支、頗、歡

福國と併して其の力をふる

本意一所変頗る歎

迎せしむる子に其の依り

軍備擴張攻撃の強行を

繰出居る我輩の人士は

一子の一針一糸は軍備

擴張攻撃の道連れと為る

操る心算一も眼もなき

### 減租論一般人民の氣変

其のきは勿論に民望を得て却て

心ある者の政府の早急な

膨脹の今の減租の到底可成

而不可行の論をして一時愚民

と煽動するの好辭柄たるに過

りたるものあるものも疑ふ者

の志者中一は之を頗る多し

少き之を視ては是は何れ

其の

の志者中一か二と題する多し

少を以て之を従はざるは任所付

筆を示さるるへいれんがた

第一台湾警備の法を改め

内地十二師團のみより聯隊

若しくは大隊を編成の儘を

漸進せしむる事、為さば今更の

六百圓田の軍事費への凡そ

其三分の一を減さべく願ふ

此事たるや政府と議會との

間ニ豫めあり早晩実行

せざるを得ざるものふれが少く

在りしや一町一戸の財を早く

の進めしは第二台湾の軍費

と磨いて代するは調査を以て

今更の軍費二百圓田

の半額を以て十分あるべし第

三台湾の軍費増加を得り

の半額を以て十分をなすべし第一  
三台湾の歳入増加を得り  
民政費補正を廢止せば三  
百萬圓を得べし此三者  
を決りせば歳入を八百  
萬圓を減し得べきを以て地  
租三個三を以て二個半とし  
歳入を以て決りて歳入の歳入  
の均衡を以ての恐れあり  
是故に城租へ根本的財政  
整理と稱するが如き大困難  
事にはありて之を以て  
宜りし得べきものあり  
理を以て後各地方好況の  
際には公會が所を以て  
て世人の認識を解するに  
若し餘り國策の改り

是故に城郭に根本的財政  
整理と稱ふが如き大困難  
事にはありて之を如何に  
宜りし得べきものありとの  
理を今後各地方好況の  
際には公會に於て論議  
して世人の注意を解すに  
務めざるを得ざるを以て  
先づ餘り國策の改訂  
を期し不都合を以て  
事柄を先ずいへば何卒  
是れを賜ふが如き  
を期す

至る本月中旬に於て備

に本報目録に於て注

文ありて孰れも之を以て

注し置かざるを得ざる

を以て先づ之を以て

注す

事、先、先生、光、何、卒  
此、心、也、賜、あり、分、休、一  
年、終、也

先生、本、月、中、作、横、二、備

在、本、月、一、日、中、之、ま、う、注、文

あ、う、ば、孰、其、の、縣、へ、由、此、説

「出、掛、可、由」と、存、於、表、」

注、文、を、く、ば、先、の、出、京、上、る

存、火

右、而、攝、嫌、在、何、處、者

此、所、在、也、火、心、惶、不、悉

四月廿二日

時敏

大隈先生閣下